

②目標値・スローガン・有料化・その他のご意見

■目標値
ごみの有料化が実施されると、ごみの排出量の減少が期待されますが、仮に令和13年度（目標年度）までにごみの有料化が実施された場合、ごみ排出量の目標値もそれを加味した数値に修正するのが良いと思います。
目標値案もターゲットとする値は出来そうだからこれくらいにしておこうというのではなく、挑戦的な値を掲げて市民全員で協力し達成したいものです。
目標値も数字を丸めることなく、そのままの数字（91g）を表現することに私も賛成です。
■スローガン
委員が提案した非常に頭に残り、且つインパクトのあるスローガンが採用され、本審議会が有意義な場であることが再認識できました。
ごみ？資源？ごみの減量は私から1人1日〇〇g
5案「続けよう！ごみの減量 私から 1人1日マイナス91g」「ごみにする？資源にする？それは結局あなた次第」に賛成します。
スローガンについては、内容も重要ですが、どの媒体を用いてPRするかによって、市民の方の認知度に大きな差が出てくると思います。ごみ問題に関心がある方だけでなく、できるだけ多くの方に知っていただくための手段を検討することが極めて重要だと思います。
ごみの減量で地球を救おう、一人一日100g
■有料化
指定ごみ袋には既に処理費用の一部を上乗せして販売しているとばかり思っていました。指定ごみ袋にする際、市民の中には、指定ごみ袋＝有料化と思う方が意外と多いかもしれないことを考えると、指定ごみ袋と有料化は抱き合わせで考える方がよいと思います。また、指定ごみ袋のサイズですが、高齢世帯のごみの量を考えた際、コンビニ袋などのサイズも用意した方がよいとの意見には、大賛成です。（私の隣の家の独居老人の方は、指定ごみ袋が導入される前までは、いつもコンビニ袋でごみを出していました）箕面市の有料化は公平感があり、参考にしてみてもいいかなと思いました。
賛成です。物を増やさない、買いすぎないように心がけるので、減量になります。
指定袋制から有料化への段階的な有料化は、丁寧に説明したとしても市民にとっては有料代金の値上げと捉えられるような気がします。最初から有料化した方がよいと感じました。有料化への積極的な取組は、市が本気で廃棄物処理・削減に取り組んでいるのだという姿勢を示すことになると思います。そのことは消極的に進めるより効果が高いと思いました。

市民税を払っているからごみを収集してもらって当然、当たり前風潮がある。暑い日、寒い日、雨や荒天の日も黙々と底辺を支えて下さっている作業員の方にまず感謝すべきであると思います。

有料化に向けて市民の皆さんに丁寧な説明が必要かと。日本では3分の1が単身世帯という。今後、益々一人でごみを出せない人が増えてくると予想され、住民同士の共助の（絆）が必要で行政のサービス面の向上も求められます。

有料化には賛成ですが、ごみ袋の価格設定を最初に経費等を含めた価格を設定し再度値上げはしないこと。

ごみの減量につながればいいのですが、不法投棄も又心配です。

ごみの収集は早急に有料化すべき

■その他

国崎クリーンセンターが出来る前までは、発泡スチロールのリサイクル化を市としてやっていたとお聞きしました。

次期計画で事業系ごみの目標削減値が明確化されていますので、改めて以前実施していた取り組みの再開も検討していただきたいです。

「ごみの分別をしよう」と色々な機会をとらえてPRをしていただきたいです。

使用後は、繰り返し資源になるような物品の取り扱い